

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第 4 号

発行日：平成二〇年七月一日 発行者：西成連区地域づくり協議会 一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内） 電話：28-9002番

新しい組織で事業企画の立案を協議

=西成の①安心・安全②連携③自立を目指して=

地域を生かすために6部会が意欲的に取り組む

地域住民の自主的な活動を目指す、「西成連区地域づくり協議会」が、各種構成団体の協力を得て誕生し、本年度（5月2日）にスタートした。

一宮市は従来から連区という優れた仕組みで運営されており、平成の大合併で23連区となったなかでの第1号。そのため西成のこの協議会は、全ての他連区から注目をされているだけに、自由な発想で地域を生かした事業の企画立案に、6部会が現状を見極めつつ、意欲的に取り組んでいます。

各部会での概要は、次のとおり。

●交通・防犯・防災部会（5月26日開催）

一宮警察署の兼光氏をゲストの招き、一宮での交通・防犯などの現状をご講話いただいたあと、西成連区内での対策や活動について、出席部会員から地域の実状を報告ねがい、認識を新にした。

一方、各小学校区での子ども見守り隊には、PTAだけでなく地区の老人クラブなどの協力を得ているなど、活動方法については多様であることの報告があった。

次回開催予定は、9月1日と決めた。

●健全育成部会（5月26日開催）

家庭・学校・地域の連携により、子ども達への躾やマナー教育が大切であり、見守り隊が小学生に対しては、献身的に活躍していただいているが、中学生への対策が手薄であるように思う。中学生を地域のボランティア活動に参加させることで、中学生にも地域とのかかわりが、大切であることを自覚させてやりたい。

スポーツ指導などでの父親の活動は敬意を表するが、一般的には父親の姿が見えてこない。子どもは父親の背を見て育つといわれるように、父親とのボランティア活動が出来るような事業を展開できないだろうか。

●生活・環境・衛生部会（6月2日開催）

安全で安心できる地域づくりが大きな課題であり、住みやすい地域を創り上げることがこの協議会の使命であろう。

この部会は、現行の事業をどのように収斂するかが鍵だが、守備範囲があまりにも広いので、次回以降は今日の話題を整理し、議題を絞り込んで協議する必要がある。

次回開催予定は、8月4日と決定（以降は、偶数月の第1月曜日に開催）

●広報部会（6月3日開催）

西成連区は一宮でも2番目に大きな連区であるだけに、広報活動は大変重要である。現在、西成連区地域づくり協議会だよりが、A4判表裏に印刷して全戸配布されており、普通の回覧とは異なり、関心のある住民には目を通して頂いているようだが、次世代向きではないとの意見もあり、将来に向けホームページの開設を検討することになった。

ただし、ホームページを閲覧できる住民は全てではなく、少なくとも暫くの間は併用するべきではないかとの意見もあり、引き続き検討することとなった。

西成連区の伝統や文化を幅広く共有するために

ご一報ください「西成の行催事情報」